

平成30年度 動物実験計画書の申請・承認状況

申請件数	承認件数	不承認件数
36件	36件	0件

◎研究課題数：36件

No.	研究課題	実験責任者	承認可否
1	薬物の薬効発現機構の解析	薬学部 教授 奈邊 健	可
2	医療薬学実習b	薬学部 准教授 米山 雅紀	可
3	神経細胞死と神経新生	薬学部 教授 荻田 喜代一	可
4	がん治療後に持続する精神機能障害のメカニズムの解明	薬学部 教授 荻田 喜代一	可
5	ラット、マウスの組織におけるMATEおよびKlotho発現部位の免疫組織化学的検討	薬学部 教授 大塚 正人	可
6	細胞間情報伝達物質スフィンゴシン1リン酸(S1P)輸送体の探索と解析	薬学部 教授 大塚 正人	可
7	生活習慣病の予防に関する研究	薬学部 教授 上野 仁	可
8	医療薬学実習a	薬学部 教授 山下 伸二	可
9	薬物の消化管内吸収動態の評価	薬学部 教授 山下 伸二	可
10	食品・環境汚染物質の毒性評価	薬学部 講師 角谷 秀樹	可
11	常態及び病態時における薬物等の生体への影響に関する研究	薬学部 講師 岩崎 綾乃	可
12	環境要因(ストレス、栄養、薬物)が脳・精神機能に与える影響の解析	薬学部 教授 矢部 武士	可
13	ヒト疾患モデルのin vivo, in vitro 解析	薬学部 教授 前田 定秋	可
14	免疫・アレルギー疾患に対する新規治療戦略の開発	薬学部 教授 河野 武幸	可
15	医薬品の適正使用および効果的な使用方法に関する研究	薬学部 教授 河野 武幸	可
16	ヒト疾患モデルマウスの開発	薬学部 教授 松浦 哲郎	可

No.	研究課題	実験責任者	承認可否
17	ヒト疾患モデルマウスの開発 (誘発モデルの探索)	薬学部 教授 松浦 哲郎	可
18	ヒト疾患モデルラットの開発	薬学部 教授 松浦 哲郎	可
19	基盤実習	薬学部 教授 松浦 哲郎	可
20	DDS的手法に基づく創薬・創剤研究	薬学部 教授 佐久間 信至	可
21	医薬品の薬物動態(吸収)の評価	薬学部 准教授 菊田 真穂	可
22	医薬品及び機能性食品が与える相互作用 および薬物動態(分布・吸収)への影響	薬学部 助教 小西 麗子	可
23	鼻炎症状および皮膚症状を呈するアレルギー疾患に 対する、ステロイド代替療法の提案と評価	薬学部 助教 小西 麗子	可
24	薬物および機能性分子の作用発現機構の解析	薬学部 准教授 倉本 展行	可
25	FAM83H遺伝子改変マウスの解析	薬学部 教授 山岸 伸行	可
26	日焼けモデルの構築とその応用	理工学部 講師 居場 嘉教	可
27	睡眠作用を調べる簡易スクリーニング系の開発	理工学部 講師 居場 嘉教	可
28	薬理学実習	理工学部 講師 居場 嘉教	可
29	糖尿病による炎症増悪機構について	理工学部 講師 居場 嘉教	可
30	抗疲労効果を有する機能性食品の開発	理工学部 講師 居場 嘉教	可
31	細胞の分化・増殖・運動の制御に関わるシグナル伝 達分子の解析	理工学部 准教授 船越 英資	可
32	天然由来物質におけるアトピー性皮膚炎モデルマウ スのアレルギー抑制作用について	理工学部 教授 尾山 廣	可
33	ATPイメージングによる精子のエネルギー 代謝機構の解析	理工学部 講師 井尻 貴之	可
34	薬物および毒物の作用発現機構の解析	理工学部 准教授 木村 朋紀	可
35	感音難聴のメカニズムの解明と予防薬・治療薬の探 索	薬学部 教授 荻田 喜代一	可
36	卵白アルブミン(OVA)誘発性喘息マウスモデルの病 態形成におけるケモカインCCL28の役割の解明	薬学部 教授 奈邊 健	可